

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	中央大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チュウオウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(博物館実務研修)
	学部・研究科等名	文学研究科
	担当教職員名・役職	西川広平准教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	1
	受入企業等名	東京国立博物館
	インターンシップの分類	7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 11.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	大学院生が自らインターンシップ先を探し、20日程度の実務研修を行う。
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	博物館において資料の取り扱いを要する調査や実務を行う。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		年次を問わない
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学期の初めに希望者を集めた説明会を実施する。学生は延べ60時間以上の実務を行い、報告書を提出する。授業時間外の学習として担当教員から事前、事後指導を受ける。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	実習中に必要に応じて担当教員から指導を受ける。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前に説明会を行い、インターンシップ計画書を学生に書かせている。また、必要に応じて担当教員からの指導を受ける。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生からインターンシップ実施報告書を提出させるとともに、実習先の担当者から講評をいただく。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習中に必要に応じて担当教員から指導を受ける。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前の計画書ではインターンシップの必要性、目標を書かせており、事後の実施報告書では目標の達成状況等を書かせている。

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	約6か月に渡り合計20日程度の実務を行っている。
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	約6か月に渡り合計20日程度の実務を行い、合計実習時間は140時間程度になる。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習受け入れ先の担当者から最後に講評をいただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.chuo-u.ac.jp/syllabus/freeword/
問い合わせ先	大学等名	中央大学
	担当部署名	大学院事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	藤野 正豪
	電話番号	042-674-2612
	メールアドレス	grad-bun@tamajs.chuo-u.ac.jp